



水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち

YOSANO

広報よさの

No.120



●今月の表紙

平成 28 年与謝野町成人式（1 月 10 日撮影）

●主な記事

02 みえるまち

04 平成 28 年与謝野町消防団出初式

06 平成 28 年与謝野町成人式

08 総合戦略を策定

18 よさの人

2016

2

● 与謝野町クリエイティブディレクター・田子學さんが3つの“みえる”を解説

「与謝野町はすべて“みえる”ことに自信を持ち、約束すること。
そして、新しい取り組みへ挑戦することが大切です」



1 “安心安全”がみえる 基幹産業の源流強化と 与謝野流エコシステムの確立

農業分野においては、自然循環農業を深化させ、「京の豆っこ」を使用した農法の確立や、「SOFIX（土壌肥沃度指標）ブランド認証」を受けた農産物の流通体制構築を目指すことにより、自主流通を促進させながら「与謝野版農業モデル」のブランド化を図ります。織物分野においても、源流である糸づくりに目を向け、新たな価値を創出し世界に誇る産地を目指します。また、農業・織物業を分断せず、相互に点在する要素を結びつけながら、「与謝野流エコシステム」を構築します。

2 “個性”がみえる 共創による仕組みづくり、 仕事づくり、人づくり

与謝野町の優位性や付加価値をステークホルダー（利害関係者）に伝えとともに、こだわりが対価となる仕組みをつくります。また、価値共創の必要性を認識し、オープンでクリエイティブな環境を整えることに努め、起業家精神を育み、商品やサービスの開発を活性化するための支援に取り組みます。これらを円滑に推進するために、行政、商工会等の連携により、「与謝野ブランド戦略推進チーム（仮称）」を設置し、仕組み、仕事、人材を生み、育むまちを目指します。

3 “もてなし”がみえる みえるまちを体感・発信する 拠点エリアを構築

阿蘇ベイエリアを拠点と位置づけ、「ヒト、モノ、コト、情報の流れ」をデザインします。それにより、基幹産業のイノベーションと住民・事業者の挑戦を支え、世界に向けて町の魅力や姿勢を発信する場、賑わいに満ちた豊かな生活をおくる舞台として再構築します。そのためには、衣食住の豊かさを体現するカスタマータッチポイント（与謝野町と住民・事業者・来訪者の接点）の不足が課題であり、共感を呼ぶ仕組みづくり、場づくりを行いながら解消を図ります。



上／知的財産権について講演する日高さん 中／与謝野町の魅力を語る馬場さん 下／熱気に包まれた会場の様子

与謝野ブランド戦略シンポジウムレポート

与謝野ブランド戦略のコンセプト発表を行った「与謝野ブランド戦略シンポジウム」は、12月5日、山与醤油株式会社倉庫で行われ、約200名の来場者で会場は熱気に包まれました。

山添藤真町長から、この日に至るまでの経過を説明した後に、田子學さんからブランド戦略のコンセプト「みえるまち」を発表。

続いて、強いブランドをつくるために欠かせない「知的財産権」について、弁理士の日高一樹さん（日高国際特許事務所）の基調講演があり、様々な事例を通して「知的財産の活用と有用性」について理解を深めました。

阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの中間報告では、

※このシンポジウムは、全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。

阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの中間報告では、



与謝野町は、平成24年4月に施行した「中小企業振興基本条例」、平成25年12月に提言を受けた「産業振興に関する提言書」を礎として、平成26年度から、「与謝野ブランド戦略事業」を主要施策のひとつに掲げ、新しい視点での産業振興を実現するため、これまでにない取り組みに挑戦してきました。

本年5月には、田子學さん（株式会社エムテド）をクリエイティブディレクターに迎え、「与謝野ブランド戦略」のマネジメント体制を構築。産業振興会議とともに、デザインマネジメントによる産業振興施策を協議、実行してきました。

ビールの原料であるホップの試験栽培を行う「クラフトビール醸造事業」をはじめ、若手織物職人とクリエイターが織物

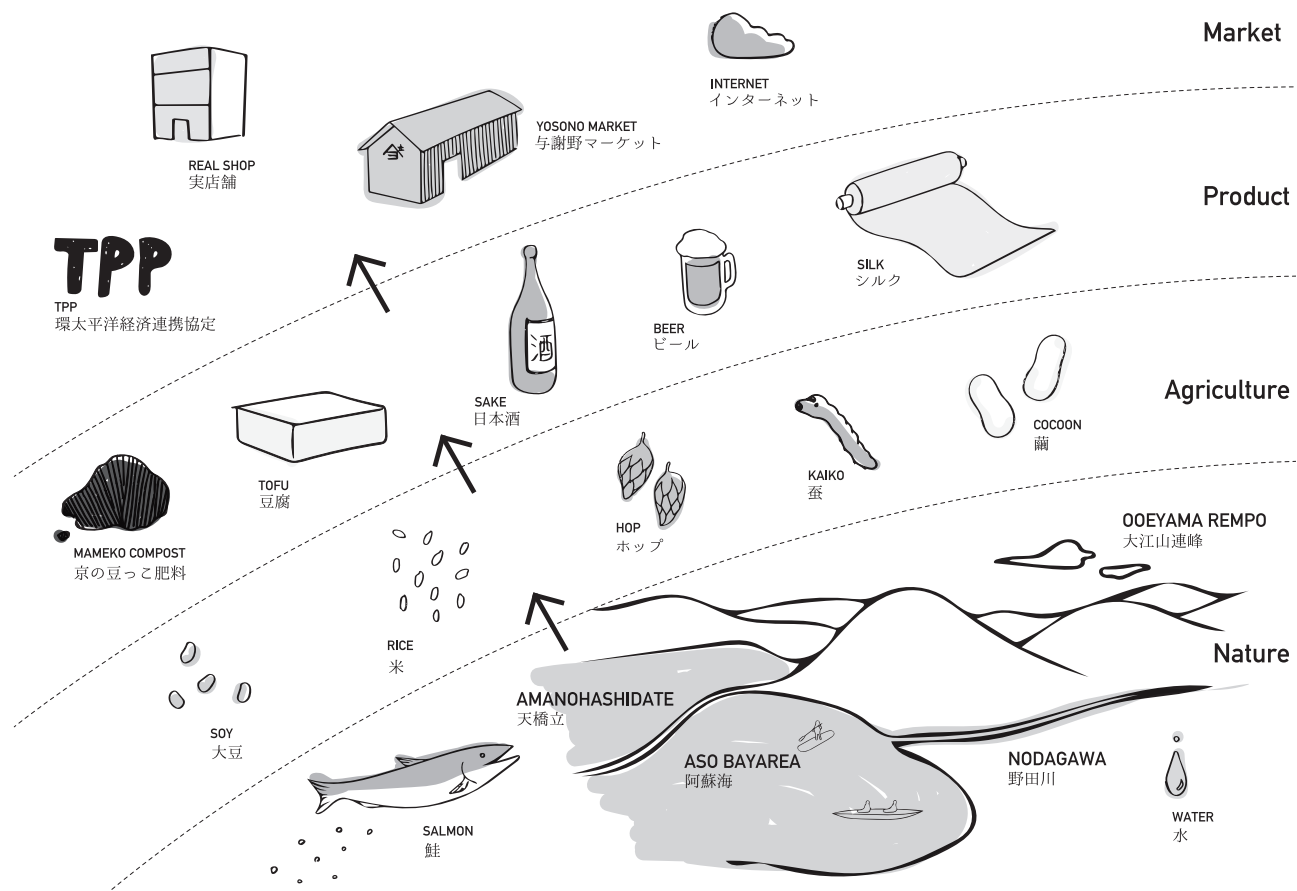
の可能性を模索する「ヨサノオープンテキストスタイルプロジェクト」、同戦略の拠点として阿蘇ベイエリアの再構築を目指す「阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン策定事業」、ものづくりの担い手を毎週動画で配信する「織りなす人」など、各プロジェクトを進めています。

これらプロジェクトの上位概念として位置づけられるのが、ブランド戦略のコンセプト「みえるまち」です。

時代の移ろいの中で見失ってしまったものを今一度見つめ直し、今すべきことを町民の皆さんとともに考え、行動に移す必要があります。

与謝野町を未来につないでいくための戦略の根幹となる考え方「みえるまち」について、今月号ではお伝えします。

● みえるまちの展開イメージ



与謝野町には、世界に誇る一次産業、二次産業が息づいています。これら産業を育んでいるのは、大江山連峰、野田川、阿蘇海へとつながる自然環境です。まちの中にこれだけの恵まれた環境があることは誇るべき点です。豊かな環境によって育まれる農業、健全な一次産業が成り立つことによって実現できるものづくり、それらすべてがそろって初めて上質なサービスを商流にのせていくことができます。与謝野町は、「みえるまち」をコンセプトに、一気通貫して「信頼」を提供できる環境を構築し、小さな町から世界にインパクトを与えるような行動を起こし、産業を基軸に次の世代にまちを繋いでいきます。



■表彰者の皆さん（一部抜粋・敬称略）

○両丹都市消防協議会長表彰
市田 明義（加悦③／部長）
吉川 真二（岩滝①／部長）
衣川 智博（野田川②／部長）
藤原 則裕（野田川④／部長）
河邊 克典（野田川⑤／部長）

○京都府消防協会精勤章
今田 英規（加悦②／分団長）
小西 淳（岩滝①／分団長）
四宮 雅晴（岩滝④／分団長）
小谷 拓也（野田川①／分団長）
山添 裕時（野田川⑤／分団長）

○京都府消防協会勤功章
小室 滋巳（本部／本部付分団長）
村島 政博（本部／本部付分団長）
井崎 和彦（加悦③／分団長）
有吉 哲也（野田川②／分団長）

○京都府消防協会
消防連絡協議会長表彰
小田 正一（加悦②／班長）
糸井 康行（岩滝③／班長）
才本 恵介（野田川⑤／班長）

○京都府消防協会
宮津与謝支部長表彰
安田雄一郎（加悦①／班長）
小牧 祐樹（加悦③／班長）
豊田 善史（加悦③／班長）
松本 潤也（加悦③／班長）
大江 卓（岩滝①／班長）
高岡 健彦（岩滝④／班長）
宮垣 清孝（野田川②／班長）
大内 浩史（野田川②／班長）
坂根 茂樹（野田川③／班長）
金谷 智博（野田川③／班長）
河邊 啓介（野田川⑤／班長）

○町長退職消防団員感謝状
浪江 一徳（細見 良介）
市川 祐樹（細見 良介）
永濱 智史（山崎 佳祐）

※括弧内は方面隊・分団名・役職名



がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部

平成 28 年与謝野町消防団出初式

1 年間の安心・安全を願って

■消防団は、「めざそう火災ゼロの町」をスローガンに頑張ります。

与謝野町消防団出初式が平成 28 年 1 月 10 日、知遊館一帯で開催され、消防団団員と消防関係者らおよそ 300 人が集まりました。

式典では、澤田尚登団長が『火災ゼロのまち・与謝野町』を目指して、徹底した予防消防を一層展開しなければならない。町民の安心・安全のため、『わが町は我々が守るんだ』という精神でがんばってもらいたい」と訓示。また、町長の式辞では「消防・防災は一時の停滞も許されない。町も今年 1 月から防災安全課を創設し、安心・安全に特化した組織体制へと再編した。町全体で消防・防災にも取り組みたい」とあいさつ。

功労者や優良団員に表彰状が伝達され、退職消防団員に感謝状が贈呈されました。

式典終了後、団員らは恒例の「分列行進」と「一斉放水」を披露し、見学に訪れた地域住民とともに今年一年間の安心と安全を誓いました。



写真で振り返る 出初式



- ① 団長からの訓示
- ② 一斉放水を披露する与謝野町消防団と宮津与謝消防組合
- ③ 表彰を受ける消防団員
- ④ ラッパ隊による分列行進の披露
- ⑤ 整列する消防団員の皆さん
- ⑥ 分列行進を披露する消防団員
- ⑦ 放水をする消防団員



16



12



8



3



2



1



17



13



10



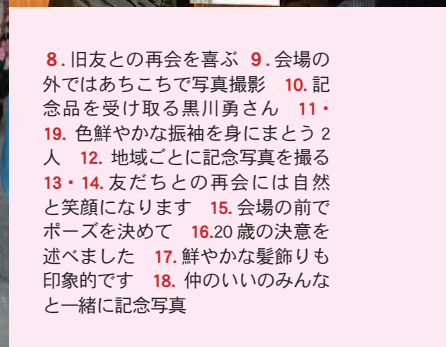
4



18



14



9



5

1・6.旧友たちと記念写真 2.久しぶりに出会った友達と写真撮影 3.仲のいい友だちと一緒に 4.式典中の新成人の皆さん 5.山下アナ(町有線テレビ)からインタビューを受ける2人 7.華やかな振袖を身にまとう新成人

◎写真特集 平成 28 年与謝野町成人式

仲間と迎える

新たな門出

新

成人の門出を祝う「平成28年与謝野町成人式」が1月10日、野田川わーくばるで開催されました。

今年の対象者は平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの275人で、この日は振り袖や羽織袴などに身を包んだ215人が式典に参加しました。会場には旧友との久しぶりの再会を喜ぶ新成人たちの笑顔があふれました。

式典では、山添町長が「一人ひとりが夢と希望を持ち、何事にもチャレンジ精神を大いに発揮され、自らの力で、自らの道を切り開いていけることを期待しております」。

「す」と式辞を述べ、来賓からもはなむけの言葉が述べられました。その後、記念品の丹後ちりめんふくさセットが、町長から新成人代表の黒川勇さん(四辻)に贈呈されました。

最後に、新成人を代表して野村京平さん(浜町・右下写真)が、「自分が成人として社会に与えられる影響は何なのか。今までは誰かに生きさせてもらっていたことを自覚し、これからは自分で生きていく。この意識の変化こそ、成人にとって最も大事なことでと考えると考えます。」と力強く決意を込めて謝辞を述べました。



19



15



11



7



6



6

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともにそれぞれの地域で住みよい環境を確保するため、まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口動向を分析し、将来の展望を提示する「京都与謝野人口ビジョン」と、今後5カ年の目標、施策の基本的方向性や施策を提示する「与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」を策定しました。

■どのように対応するのか が問われている

本町の人口は2万3454人、高齢化率29・93%（いずれも2010年国勢調査）となっており、今後、人口減少が進み高齢化率もますます上昇することが明らかとなっています。ピーク時の1975年には2万8618人の人口がありましたが、なぜ人口が減少したのでしょうか。なぜ今後でも減少していく予想となっているのでしょうか。

- 本町の人口減少の原因は二つあります。一つは出生数より死亡数が多いこと（自然減）。もう一つ
- （1）常識にとらわれず、チャレンジする姿勢を大事にします
 - （2）多様な価値観を尊重します
 - （3）民間の力を最大限発揮します

■4つの基本目標

今までのまちづくりは行政主導で行われてきましたが、成熟した社会においては、価値観や生き方等が多様化しており、行政の力だけでは十分なまちづくりを進めることは難しくなっています。このような状況を共有し40年先、50年先を見据えて、今から2019年までの間に住民、住民団体、行政が取り組むまちづくり施策をまとめたのが、この「与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）です。

本町では高校卒業後の若年層の転出超過が人口減少の最大の原因となつていますが、仕事・雇用を作れば人が帰って来ると言えばそれがすべてではなく、この町でイキイキと働き・共に学び育ち、そしてワクワクするような活動が行われ、キラリと光る人の存在がある、そんな町には外からも人が来ると考えています。また、日本全体で人口が減少する状況で人の取り合い・金の取り合い、自治体

は転入数より転出数が多いこと（社会減）です。この二つの原因により、近年は毎年約300人の人口が減少する傾向となっているのが実態であり、また、人口構造は若年層が少なく年齢の大きい世代に偏っていることから、仮に出生率が上昇し子どもの人数が増えても、それ以上に亡くなられる方の人数が多いため、出生率が上昇した効果が現れるまではすぐに自然減を解消することは難しいと言えます。さらに若年層の転出傾向が続いているため、この流れを断ち切ることに加え、転入者数の増加が人口減少の抑制に効果的であると言えるものの、そう簡単ではないことはよく理解できるのではないのでしょうか。

今、東京圏以外の日本全国が本町と同様の状況となっており、日本全体の人口が今後、減少することが予測されている状況においては、本町だけが人口が増えるとは考えにくい状況となっています。

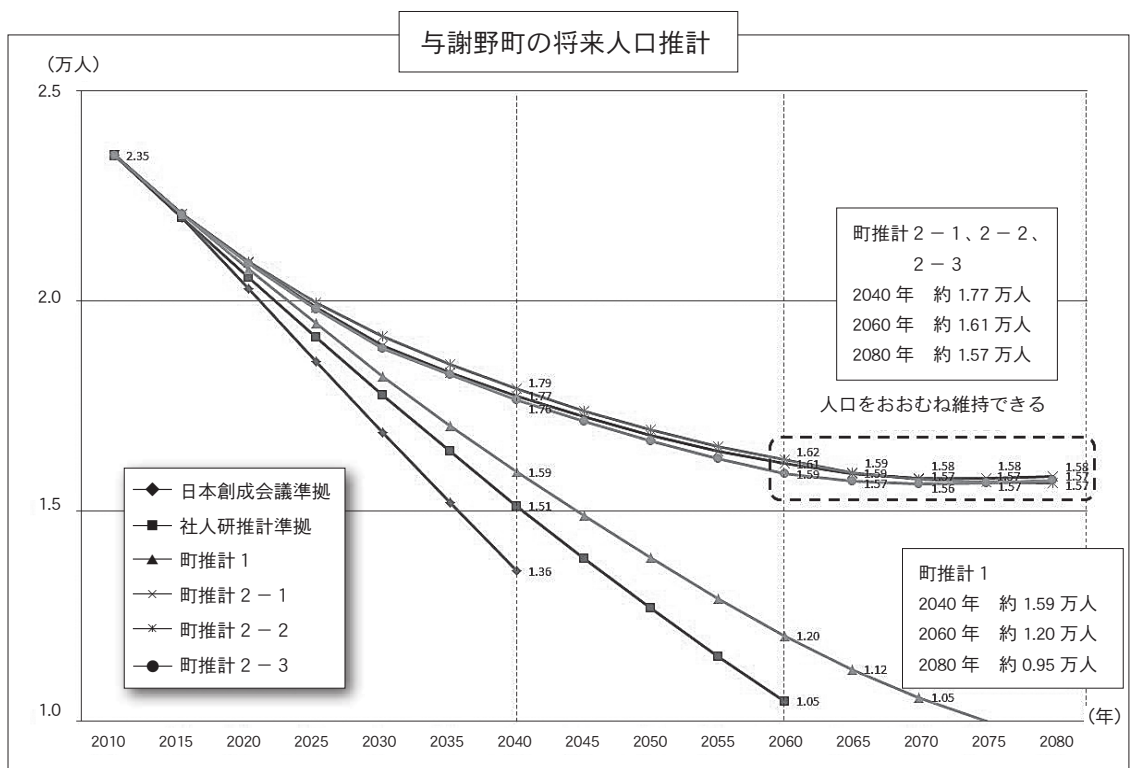
人口が減少することによって、社会の多くのことに影響が出てくることが容易に予想できます。影

響の範囲や程度はさまざまですが、少なくともこれまでのような人口増加、右肩上がりの経済成長を前提としたまちづくりはもう限界であつて、人口減少を前提としたまちづくりが求められているところです。要するに、人口を増やすことが目的ではなく、人口減少にどのように対応するのが問われていると言えます。

このような人口減少下においても持続可能なまちをつくるため、本町では人口減少を出来る限り抑制し2060年以降に「1万6000人」前後で人口が落ち着く「おおむね人口維持」を長期的目標として掲げます。さらに、ここに住む人の数のみを目標とするのではなく、縮小する社会においても人や地域が輝き「若男女がイキイキする与謝野（まち）」であり続けることが重要となります。

■基本的な考え方

本町では、次の基本的な考え方によりこの総合戦略の取り組みを進めます。（次ページへ）



4つの基本目標

織りなす人をつくる

～与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人財育成～

（ア）地域で育む地域人財の育成

- ①与謝野みらい町民大学校（仮称）
- ②与謝野学教育
- ③公共施設の柔軟な利活用による場づくり

（イ）創造人財の育成

- ①新たな知を生み出すリベラルアーツ教育の推進
- ②「ほんまもん技育」
- ③グローバル人財の育成
- ④多様な町政参画機会の提供

（ウ）妊娠から出産・子育てまでを一体的に支援する環境づくり

- ①結婚から妊娠・出産支援
- ②保育サービスの充実
- ③心豊かな親と共に地域で子育てを応援する体制づくり

まちへの人の流れをつくる

～ヒトの魅力でヒトが集う
与謝野IJU（いじゅう）戦略～

（ア）IJU支援の強化と創造的交流の推進

- ①空き家・空き地の把握
- ②移住から仕事までの一気通貫の支援ネットワークの構築
- ③与謝野・イン・レジデンス（短期型滞在）【仮称】の推進

（イ）大学、都市等との連携・交流

- ①大学（大学生）との連携事業
- ②「与謝野梁山泊（仮称）」事業
- ③ふるさと奨学金

創造的にものをつくる、しごとをつくる

～与謝野ブランド戦略による
一気通貫した産業振興～

（ア）ブランド戦略による地域産業のイノベーション

- ①マネジメント体制の構築
- ②ものづくり産業の強化
- ③自然循環農業の強化
- ④大規模農業・地域内6次産業化・新規就農
- ⑤プロモーションの強化

（イ）コト起こしへのチャレンジの喚起

- ①創造地域づくりの推進

（ウ）都市部からの企業サテライトオフィス×移住誘致

- ①逆指名型企业誘致
- ②創業等支援の充実

地域と地域が連携し 持続可能なまちをつくる

～与謝野を磨く、丹後を磨く～

（ア）地域住民による地域づくりの推進

- ①地域ビジョン（仮称）の推進
- ②まちづくり観光の推進

（イ）京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流

- ①京都府北部地域連携都市圏の形成
- ②公共交通の維持・強化
- ③創造都市交流事業の推進

私は昨年8月に来日してから、日本の夏、秋、冬を経験しました。私は熱帯の島であるバルバドス出身のため、小学校の授業で子どもたちに私の国の気候のことを説明するといつも驚かれます。バルバドスはシンガポール、フィリピン、ブラジルのように1年中暖かく、雪が降りません。熱帯の国には四季がなく、1年は雨の日の多い雨季と晴れの日の多い乾季に分かれています。

バルバドスは1年中暖かいので、いつでも海で泳ぐことができます。スカーフやセーターが必要なのは冷房の良く効いた建物内にいるときだけです。雪はテレビや映画、写真以外では、唯一11月～2月に遠くの山の頂上に見ることができます。それは「Snow On The Mountain」と呼ばれ、北アメリカを原産とする小さく白い花をつける植物の名前にも付けられて親しまれています（和名：ハツユキソウ）。

私は冬のない国から来たため、与謝野町の人々は私が寒さと雪に困っていないか心配してくれます。しかし、私は昔アメリカの首都であるワシントンDCにある大学に通っていました。また、ニューヨーク市にも住んだことがあります。これらの都市は四季があり冬には雪が降るため、学生時代はスキー、スノーボード、アイススケート、雪だる

ま作りや雪合戦もしたことがあります。

バルバドスのような熱帯の国では、太陽は朝6時頃に登り、夕方6時頃に沈みます。昼と夜の長さはおよそ12時間であり、1年を通してほとんど変わりません。なぜかという熱帯の国は赤道付近にあるからです。赤道付近は地球上で最も暑く、昼夜の長さは1年を通して変わりません。赤道から離れたところにある日本は北半球にあるため、冬は夜が長く寒くなります。南半球にある国ではこれが逆になり、日本が冬のときは夏になります。

私は、冬は太陽が遅くに昇り早く沈むため寂しく思います。冬はとても暗い感じがして寒いため、太陽が恋しくなります。

私は私の国の温かい気候と強い日差しが好きですが、日本の冬も大いに楽しんでいます。日本には冬の間に友達や

家族とこたつに入る文化があり、とても素晴らしく思います。また、こたつで美味しい冬の食べ物を食べることもできます。加えて、雪化粧をした山々の景色はとても美しいと思います。冬はいろいろな特別な楽しいことができますが、やがて冬は終わって春になり、花が咲きます。日本人は春を楽しみにしているため、寒い冬でも春を待ちながら楽しく過ごせるのだと思います。



与謝野町の冬の景色を楽しんでいます
(左上部は「Snow On The Mountain」)

公民館訪問 [第35回 加悦地区公民館]



化野念仏寺

思っています。意義ある見学ができたかなと

加悦地区公民館は、平日の午前中（9時～正午）に公民館主事が在館し、簡単な事務と公民館の管理を行っています。公民館活動は、20年以上前から、歴代の区長が区民の健康と文化に役立つ事業を企画実施して、今日に至っています。

それらの事業は、元旦走ろう会、区グラウンド・ゴルフ大会、文化祭、加悦区会報「ゆとり」の発行等です。区民以外の参加もある「夏祭り・盆踊り大会」は、お盆に帰省される方にも故郷を楽しめるようにしています。

大人の社会見学は、平成21年人権講座の場として舞鶴引揚記念館を第一回として、毎年行い、第七回目の今年度は、京都映画村・嵯峨愛宕街道を散策しました。

加悦地区公民館は、平日の午前中（9時～正午）に公民館主事が在館し、簡単な事務と公民館の管理を行っています。

公民館活動は、20年以上前から、歴代の区長が区民の健康と文化に役立つ事業を企画実施して、今日に至っています。

それらの事業は、元旦走ろう会、区グラウンド・ゴルフ大会、文化祭、加悦区会報「ゆとり」の発行等です。

区民以外の参加もある「夏祭り・盆踊り大会」は、お盆に帰省される方にも故郷を楽しめるようにしています。

大人の社会見学は、平成21年人権講座の場として舞鶴引揚記念館を第一回として、毎年行い、第七回目の今年度は、京都映画村・嵯峨愛宕街道を散策しました。

図書館へ行こう！

豆にまつわる本

節分といえば、鬼とそれをはらう豆まきを連想されることが多いはず。今月は、豆まきに欠かせない“豆”に注目した本を紹介します。



『あん』

ドリアン助川／ポプラ社

小さなどら焼き屋の店長千太郎の下へ、70歳を過ぎた手の不自由な女性がアルバイト希望としてやってきた。彼女がつくった「あん」のうまさに、採用を決めた千太郎。その味が評判となって店は繁盛しはじめるのだが、彼女には悲しい過去があった……映画化にもなった感動作。



『大豆の大研究』

加藤昇／PHP研究所

豆まきに使われる由来にもなるほど魔よけのパワーがあると信じられていた大豆。豆腐や納豆といった栄養価の高い食べ物としてはもちろん、現在では、印刷用インクやバイオディーゼルの材料などに活用されるなど、私たちの生活に深く関わっている大豆の秘密に迫った1冊です。

『おにのおめん』

神沢利子・狩野富貴子／教育画劇

お兄ちゃんが書いた鬼のお面はとてもしっかりと強そうです。それをかぶったさとくんが鬼になり、おにいちゃんが豆まきをするのですが……ある一家のほほえましい節分の様子を温かく優しいタッチの絵とともに綴った絵本。



『かんたん豆腐、大豆料理』

竹村章子／ブティック社

「畑の肉」と呼ばれるほどタンパク質が豊富な大豆は身体に良い食べ物の代表。大豆からできる納豆と豆腐は、大豆よりも消化吸収がよく毎日の食卓に大活躍する食材です。この本で紹介される簡単レシピで、今年一年健康に過ごしましょう。



Info

蔵書点検のため臨時休館します

図書館は蔵書点検のため、下記のとおり臨時休館します。

休館中はご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくおねがいします。

<休館期間>

■本館 2月16日(火)～19日(金) 4日間

・・・・・・・・・・・・・・・・

図書館おはなし会

<野田川分室> 2月20日(土) 午前10時30分～

<本館> 3月5日(土) 午後3時～

<加悦分室> 2月はお休みです



●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



●ちりめん街道防災訓練と防災学習会 地域みんなで 防災について考える

1月17日（日）、伝統建造物群保存地区とされているちりめん街道一帯で、『ちりめん街道防災訓練と防災学習会』が開催されました。

ちりめん街道の町並みが文化財に選定されて以来、「ちりめん街道を守り育てる会」と共催で毎年訓練や学習会が実施されています。

この日は、旧尾藤家住宅で防災訓練をおこない、その後、加悦地区公民館で学習会が開催されました。宮津与謝消防組合の方々も、訓練・学習会とも参加し防災について呼びかけました。

学習会の講師は、立命館大学大窪たけゆき教授を講師として迎え、南丹市

美山町や篠山市で実験的に運用されている防災システム機器の説明がされました。

学習会終了後は、これまでの学習会で協議を重ねてきた防災対策案が、実際に実施できるように、「だれが」「ど

防災学習会が開かれる



消火器の使い方も学びました

のように」「いつ」するかについて、熱心に議論。学習会は、ちりめん街道を対策範囲とされていますが、どなたでも参加できます。

地域の地形・建物の配置、人の暮らし方などにより、対策は異なりますが、対策を考えるときの方法・知識・着目点などを知ることができ、応用できる内容も多く、参加者の皆さんは防災への意識を高めました。

健やか広場

▶▶ 寒い冬のヒートショックに注意しましょう

ヒートショックとは

暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な温度の変化によって血圧が上下に大きく変動することをきっかけにして起こる健康被害のことです。失神をはじめ、心筋梗塞、不整脈、脳梗塞などで、死に至るケースも少なくありません。

冬の入浴中に起こる突然死の大きな要因

ヒートショックは、気温の下がる冬場に多くみられます。特に、体全体を露出する入浴時に多く発生しています。ヒートショックは住宅内においても、暖房をしていない脱衣室や浴室では、室温が10度以下になることがあります。寒い脱衣室では、衣服を脱ぐと急激に体表面全体の温度が下がります。この寒冷刺激によって血圧が急激に上がります。一度急上昇した血圧は、温かい湯につかると血管が拡張して、反対に急激に低下してしまいます。この急激な血圧上下が失神を起こす原因の一つと考えられます。

東京都健康長寿医療センター研究所が行った調査では、2011年の1年間で、全国で約1万7000人もの人がヒートショックに関連した「入浴中急死」に至ったと推定されました。この死亡者は、交通事故による死亡者数

の3倍をはるかに超え、そのうち高齢者は1万4000人と大多数を占めています。

ヒートショックの危険性が高い人は？

〔高齢者〕

日頃元気な人でも、血圧変動をきたしやすく、体温を維持する生理機能の低下から温度の変化に対応しにくくなっています。

〔高血圧、糖尿病、脂質異常症の人〕

高血圧の人は、血圧の急激な上下運動による低血圧が起きやすく、意識消失を起こしやすいとされています。糖尿病・脂質異常症の人も動脈硬化が進みやすいためリスクが高まります。

ヒートショックを予防するために

〔温度差を減らす〕

● 冷え込みやすい脱衣室やトイレを暖房器具であたためておく。

● 浴室内は、脱衣室を暖房で温めたり、お湯をはった後に、蓋を開けて湯気で浴室を温めておく。また、高い位置に設定したシャワーから浴槽へお湯をはることで、浴室全体を暖めることもできます。

〔入浴の際にも注意が必要〕

● 湯温設定41℃以下、長湯を避ける。

● 食事直後・飲酒時の入浴を控える。



食後1時間以内や飲酒時は、血圧が下がりやすくなるため、入浴を控えた方がよい。

● 入浴の前後にはコップ1杯程度の水分を補給する。

● 夕食前・日没など早い時間に入浴する。

日中は日没後に比べ、外気温が比較的高く、脱衣室や浴室がそれほど冷え込まないことに加え、人の生理機能が高いうちに入浴することで、温度差への適応がしやすくなります。

● 湯船に入る前に、心臓から遠い部分からかけ湯をして、徐々に体を慣らし、足からゆつくりと入り、徐々に肩までつか。出湯の際は、ゆつくりと立ち上がり湯船から出る。

浴室に限らず、冬場の冷え込んだ脱衣室・トイレなど、極端な温度差がある場所は注意が必要です。暖房など上手に取り入れ、入浴の方法に気を配ることで、ヒートショックを予防しましょう。

第26回全国椿サミット与謝野大会

Info
4月9日・10日開催

■サミット開催内容を決定

4月9日（土）、10日（日）に野田川わくばるを大会メイン会場として開催する「第26回全国椿サミット与謝野大会」に向けた準備を進めております。実行委員会では、全国各地からお越しただくツバキやザンカンの愛好家の方々と、精一杯のおもてなしをもって、お迎えします。このサミットでは、与謝野町の魅力を全国に発信するとともに、大会プログラムを通じて、参加者との交流により、この町の良さを体感いただけるよう取り組んでいます。

■大会プログラム

- 〔4月9日（土）〕
- 展示・PRコーナー
- 記念行事（滝のツバキの物語、サミット開催記念俳句大会）
- 参加者交流会
- 〔4月10日（日）〕

一町の木「椿」
滝地区には「滝のツバキ」があります。このツバキは、「千年ツバキ」といわれ、奥滝集落から南へ約1.5km山道をたどった山林の中にあり、国内でも最長寿級のヤブツバキのひとつと言われている巨樹であり、その大きさは樹高9.7m、枝張り南北14m×東西13mに及びます。例年、春には紫紅色の花が大きく広がった枝々を囲みます。

■地域づくりワークショップの取り組み

全国椿サミットの開催を契機として、滝のツバキをはじめとする滝地区の魅力を活用して、地域づくりを推進するワークショップを滝地区公民館で行っています。

この取り組みでは、参加者が地域の魅力を味わう自然、文化、暮らし、施設などさまざまなコンテンツから、地域の良さを共有し、地域コンセプトとしてまとめ、コンセプトを味わう仕掛けを構築していきます。地域の住民が誇りを持って素晴らしいと思える地域の魅力を提供し、結果として、地域を訪れる方々が、ここにしかない景色やここで営まれる暮らしなど、地域の誇りに触れることから、地域の活性化につなげていきます。

ワークショップを行い地域の魅力を共有します



江山文庫読書会

与謝野晶子の童話を読む
第46回「鬼の名前」



●日時 2月26日（金）
※毎月第4金曜日
午後1時30分～3時
●問い合わせ先
江山文庫 ☎ 43-2180

広告

今月の納期

2/29（月）まで
国民健康保険税 第9期
介護保険料 第9期

滞納税相談窓口

※納期を過ぎた町税の納付相談窓口
京都府税務機構 丹後地方事務所
京丹後市役所 大宮庁舎3階
☎ 0772-68-1041



閉校式典・50 周年記念（閉園）式典のお知らせ

問 学校教育課 ☎ 43-9025 問 子育て応援課 ☎ 43-9024

岩屋小学校・岩屋保育所は、地域に根付いた教育・保育を永きにわたって展開してきましたが、3月末をもって輝かしい歴史と伝統に幕を閉じることとなり、4月からは市場小学校・市場保育所へと通学（所）していくこととなります。

岩滝幼稚園については、創立50周年を迎えると同時に岩滝保育所と4月から幼保連携型認定こども園に移行し、現在の岩滝保育所において、新たにスタートします。

つきましては、岩屋小学校・岩滝幼稚園の記念式典等の開催日程が決まっていますので、その概要を下記のとおりお知らせします。

なお、岩屋保育所・岩滝保育所の記念式典の日程等につきましても、決まりましたらお知らせします。



与謝野町合併 10 周年記念式典を開催します

問 企画財政課 ☎ 43-9015

与謝野町は、3月1日で合併10周年を迎えます。この記念すべき節目を住民の皆さまとともに祝うため、「合併10周年記念式典」を開催します。

式典には、一般の方も入場できますので、ご希望の方はお越しください。

■日時 3月6日（日）午前9時30分～11時30分

■会場 知遊館 あじさいホール

■内容 ●映像で振り返る「与謝野町10年のあゆみ」

●感謝状贈呈式

●児童合唱、中学校吹奏楽部による合同ステージ

出演・・・与謝野児童合唱団 エンゼルハーモニー、岩滝ジュニアコーラス、加悦・江陽・橋立中学校吹奏楽部

■その他 駐車場の台数に限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。（バス停「岩滝」下車、徒歩5分）

ふるさと納税ありがとうございました いただいたご寄付は目的に沿って活用します。

（期間：H27.11.16～H28.1.15）

◆匿名（高知県）	70,000 円
◆広野道子様（東京都）	100,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
◆匿名（岡山県）	20,000 円
◆渋谷秀隆様（京都府）	100,000 円
◆匿名（東京都）	10,000 円
◆匿名（兵庫県）	30,000 円
◆佐々木美城様（福岡県）	10,000 円
◆匿名（大阪府）	400,000 円
◆匿名（広島県）	50,000 円
◆永井哲也様（三重県）	30,000 円
◆匿名（東京都）	10,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
◆亀田勝美様（兵庫県）	10,000 円
◆匿名（京都府）	50,000 円
◆匿名（京都府）	50,000 円
◆木村信三様（大阪府）	30,000 円
◆匿名（奈良県）	50,000 円
◆杉岡秀紀様（京都府）	10,000 円
◆匿名（兵庫県）	50,000 円
◆今井しのぶ様（京都府）	70,000 円
◆西原弘樹様（兵庫県）	30,000 円
◆滋野浩毅様（京都府）	70,000 円
◆本城智美様（大阪府）	10,000 円
◆匿名（大阪府）	30,000 円
◆匿名（兵庫県）	70,000 円
◆匿名（東京都）	120,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
◆匿名（京都府）	100,000 円
◆高須久雄様（東京都）	50,000 円
◆匿名（三重県）	10,000 円
◆匿名（京都府）	50,000 円
◆匿名（京都府）	70,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
◆匿名（東京都）	10,000 円
◆匿名（神奈川県）	70,000 円
◆川下裕生様（神奈川県）	70,000 円
◆匿名（千葉県）	20,000 円
◆堀内浩二様（京都府）	30,000 円
◆匿名（京都府）	10,000 円
期間合計	41 名 2,020,000 円
年度合計	69 名 4,027,000 円

※ご寄附いただいた順に記載しています。

ふるさと納税いただいた方々から 与謝野町へのメッセージが届いています

■広野道子様 2020 年丹後ちりめん 300 年で、丹後ちりめんや織物産業を盛り上げてください。

■渋谷秀隆様 生まれ育った町（明石）をいつまでも応援しています！

■匿名 自然循環農業というのが耳に新しく、興味が有り、お米が好きなので届くのが楽しみです。

■杉岡秀紀様 若い町長のリーダーシップによる協働のまちづくりを応援しています。

■匿名 美しい自然にあふれた活気ある町を！

■匿名 私を育ててくれた、ふるさと与謝野町。特に後野区への恩返しとして、貢献できればと思い、納めさせていただきます。

帰省しても寂しい話題ばかりですので、地域の元気につながるよう使って頂ければ幸いです。

■西原弘樹様 地元活性化に貢献できれば幸いです。

■滋野浩毅様 地域の特性を活かした活性化の取り組みに敬意を表します。ささやかではありますが、応援させていただきます。

■匿名 故郷を離れて 30 数年が経ちました。母校の小学校も今年度で閉校と聞き、寂しい限りです。

両親の介護も終わり、帰省の機会が減りましたが、色々支えていただいた皆様に感謝の気持ちと、また故郷と少しでも繋がっていたいと思いかから寄附させていただきます。

■匿名 山添町長を応援しております！

■匿名 小さい頃、毎年夏休みは父の故郷である加悦に来ておりました。天橋立や久美浜へ泳ぎに行った後、疲れて昼寝をしておりますと、近所から機織りの音が聞こえてくるのを懐かしく思います。当時は鶴の恩返しの本を読んで、加悦には沢山鶴がいるんだと思った次第です…。

今思えば、大変貴重な体験でした。これからも良いまちづくりを期待しております。

●岩滝幼稚園 50 周年（記念）閉園式典

■日時 3月9日（水）午前9時30分～

■場所 岩滝幼稚園

■内容 第1部 記念式典（町主催）
第2部 記念事業～楽しい思い出ありがとう～（実行委員会主催）



●岩屋小学校閉校式典

■日時 3月26日（土）午前9時30分～

■場所 岩屋小学校

■内容 第1部 閉校式典(町・教育委員会・岩屋小学校主催)
第2部 惜別の会～ありがとう岩屋小学校そして未来へ～（実行委員会主催）



INFORMATION 下水道使用料の誤徴収および未賦課に関する調査結果

下水道使用料につきまして、7月に誤徴収および誤徴収に伴う未賦課が各1件発生したこと、および、そのことを受けて、統計上の下水道・農業集落排水未接続の2,773世帯を対象に調査した結果、他に誤徴収が無かったことは広報よさの9月号で既報のとおりですが、このたび、引き続き実施してきました統計上の下水道・農業集落排水接続の5,870世帯対象の未賦課調査が完了し、8件の未賦課があることが判明しましたので、次のとおりご報告します。

未賦課件数	未賦課となっていた期間	未賦課金額	5年の消滅時効が完成した額	差引請求額（未徴収金）
8件	平成16年4月～平成27年12月	1,381,718 円	592,680 円	789,038 円

差引請求額（未徴収金）の支払いについては、一括納付、分割納付の違いはありますが、全ての世帯の了解をいただき、納付していただいています。町では、すでに他の職員によるチェック体制を厳しくするなど、再発防止に努めていますが、今後は、さらなる改善を検討し、町民の皆さまの信頼回復に努めてまいります。

下水道使用料の賦課・徴収にあたり、町民の皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

訂正とお詫び

『広報よさの1月号』(No. 119)において内容に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。(下線部が訂正箇所)

■ P17
与謝野町役場 ☎43-9000(代表)
加悦庁舎 ☎43-9001(代表)
野田川庁舎 ☎43-9002(代表)

与謝野町役場
☎43-9000 (代表)

総務課 ☎43-9010
防災安全課 ☎43-9011
商工観光課 ☎43-9012
会計室 ☎43-9013
建設課 ☎43-9014
企画財政課 ☎43-9015

加悦庁舎
☎43-9001 (代表)

税務課 ☎43-9020
福祉課 ☎43-9021
保健課 ☎43-9022
農林課 ☎43-9023
子育て応援課 ☎43-9024
教育委員会 学校教育課 ☎43-9025
教育委員会 社会教育課 ☎43-9026
議会事務局 ☎43-9027
CATV センター ☎43-9028

野田川庁舎
☎43-9002 (代表)

住民環境課 ☎43-9030
水道課 ☎43-9031
下水道課 ☎43-9032

地域おこし協力隊通信⑥

☎ 企画財政課 ☎ 43-9015



ある日のテーブル・あふれそうな差し入れ

こんにちは、与謝野町地域おこし協力隊員第1号の原田美帆です。与謝野で初めて迎える冬、地域の皆さまから冬野菜に果物、味噌やお漬物、干し柿、実がごろごろのジャムをたくさんいただきました。いつもありがとうございます。昔からの手仕事、冬仕事をていねいに紡がれた結晶をしつかり食べて、寒さに負けません！

さて、『第26回全国椿サミット与謝野大会』の開催が近づいてまいりました。京都Xキャン

椿染め体験
参加者の募集

① 椿、山茶花(一輪でも、地面に落ちた花でも大丈夫です。募集期日2月20日。)
② 反物・着物(素材、色、新品等の条件はありません。募集期日2月29日。)
与謝野町観光協会にお持ちいただくか、ご自宅に受け取りに伺います。

材料集めのお願い

与謝野は記念事業「椿がつなぐ千人さきおり」ワークショップを開催いたします。縦糸を染める椿と緯糸に使用する生地を町内から集めてタピストリーに織り上げ、会場に展示します。サミット終了後は町内施設で巡回展示し、最後は図書館貸し出し用バッグに仕立て寄贈する予定です。皆さまのご協力とご参加を心よりお願い申し上げます。

裂き織りワークショップ
参加者の募集

初心者も、お子様もみんなで楽しく体験できるワークショップです。
① 2月27日(土) 10時～17時、リフレかやの里。
② 2月28日(日) 10時～17時、加悦地域公民館。
③ 3月6日(日) 9時～16時、旧尾藤家住宅。

12月入札結果

☎ 総務課 ☎ 43-9010

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税別)	最低制限 価格 (千円/税別)	落札金額 (千円/税別)	落札率 (%)	工事期間
12/11	石川旧府道線道路改良(その3)工事	石川	5者	石本建設㈱	21,743	18,604	18,604	85.5	H27/12/22～H28/3/31

災害ボランティアセンターの運営等に関する協定の締結

☎ 防災安全課 ☎ 43-9011

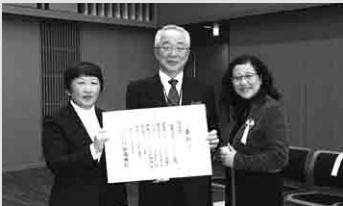


与謝野町と与謝野町社会福祉協議会は、1月7日に災害ボランティアセンターの運営等に関する協定を締結しました。
協定では、災害時の被災者支援および平常時の災害予防対策などにおいて、両者が協力して行う災害ボランティア活動に関し、必要な事項を定めた内容となっています。
今後は、有事の際に被災者のニーズと災害ボランティア活動をつなぎ合わせるこ



協定を締結しました

功績・功労をたたえて
内閣府特命担当大臣表彰受賞！



表彰を受けられた特養やすら苑土居施設長(中央)とワークセンター花音 平井管理者(左)および選考委員の同志社大学大学院 関根千佳教授(右)

平成27年12月24日、内閣府中央合同庁舎で、平成27年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰が行われ、当町の地域共生型福祉施設「やすらの里」を運営する4法人(社会福祉法人与謝郡福祉会・社会福祉法人よさのうみ福祉会・公益社団法人京都府看護協会・NPO法人丹後福祉応援団)が内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞されました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績または功労のあった個人または団体を、内閣府主管により顕彰するものです。

「やすらの里」は、障害・高齢・児童の垣根を越えた新たな福祉基盤として整備され、高齢者・障害者・地域の児童とその保護者が安心して交流できる施設として運営されていることが評価され、この度の表彰となりました。

「やすらの里」スタッフの皆さんの、今後ますますのご活躍にご期待申し上げます。

男女共同参画
キャッチフレーズ募集

内閣府男女共同参画局では、平成28年度男女共同参画週間(6月23日～29日)のキャッチフレーズを募集しています。キャッチフレーズは、さまざまな場面で広報・啓発活動に使用されます。

募集テーマ 旧来の労働慣行や意識を変え、女性も男性も多様な暮らしや働き方が可能な社会を作るためのキャッチフレーズ

応募方法 内閣府男女共同参画局サイトのキャッチフレーズ募集ページからご応募ください。

応募締切 2月29日(月)



町内に配布している
広報誌には掲載しています



町内に配布している
広報誌には掲載しています



まちのうごき

平成27年12月末現在
人口 22,966人(－26)
男 10,917人(－21)
女 12,049人(－5)
世帯数 9,144戸(－6)

※括弧内は前月比

よさの
Vol.47



織機調整工

堀場定雄さん

「丹後の職人」に認定。

●織機調整工とは
機織り機の修理をしたり、織るものによって織機調整をする人。織物の産地には欠かせない役割を果たしている。

丹後織物工業組合による、卓越した技術を持つ職人を認定する「丹後の職人」として堀場定雄さん（温江）が選ばれた。

はないが、認定されたという結果はうれしい。健康で大病もせずに続けることができたおかげ」と微笑んだ。

堀場さんは、織物業界に約80年近く携わり、特に織機調整工の関係では、その貢献と技術が高く評価され、認定に至った。「丹後の職人」に選ばれたその感想を聞くと、「特別なことをしたということでは

ないが、認定されたという結果はうれしい。健康で大病もせずに続けることができたおかげ」と微笑んだ。

織機調整工として長きにわたり現役で活動するものも、もともと機械をいじることが好きだったためであり、今でも続けられている。「80年近く携わり、いろいろな所へ呼ばれ、そこで作業し経験を積むことで技術を取得していった」と振り返る。

しかし、どれだけ経験しても、分からないことも多くあり、難しいという。その理由を、「よその機械というのは、使い方等の違いから一つ一つくせがあるから」と話し、「数を当てることで、知識も増えてきた。経験から働く勘も役に立つ」とも語った。

仕事へのやりがいをたずねると「自分が見た機が直ったときは、やっぱり達成感がある」と話し、



「織りなす人 ～ HAND MADE IN YOSANO WEAVER ～」特設サイトでも堀場定雄さん（10月30日公開）の想いが語られています。

● HAND MADE IN YOSANO WEAVER <http://yosano-weaver.jp/>



ほりば さだお

●大正7年生まれ。97歳。温江在住。織機調整工。昭和23年頃から織物業界に関わり始めたといい、織機調整工としても長きにわたり携わっている。97歳になった今も現役で活動を続け、80年で培ってきた技術と知識は、産地にはなくてはならないものとなり、活躍が続く。

しかし、どれだけ経験しても、分からないことも多くあり、難しいという。その理由を、「よその機械というのは、使い方等の違いから一つ一つくせがあるから」と話し、「数を当てることで、知識も増えてきた。経験から働く勘も役に立つ」とも語った。

仕事へのやりがいをたずねると「自分が見た機が直ったときは、やっぱり達成感がある」と話し、

今後については、「依頼の電話がかかってくる間は続けたい。100歳まで続けていきたいが、年が年だけに気をつけながら動きたい」と目標を口にした。

今もなお、織物の産地を支える堀場さん。織機調整工の方々が減る中、堀場さんの技術と知識は欠かせない。

